

事業名		競技スポーツ環境の充実及び支援					評価実施者		所 属		スポーツ振興室	
							職・氏名		室長・坪田 健一			

主要事業の概要	開始年度	根拠法令等					スポーツ振興基本計画(スポーツ振興法)					特定財源
	実施方法	☐ 直接 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担金 ☐ その他〔 〕										
	目 的	各種スポーツイベントの推進、各種施設の管理と有効活用を図るほか、スポーツ著名人による実技研修会の開催や各種全道全国大会の誘致により、一流選手のプレーを直接観ることや、競技に参加することで、競技力向上や競技スポーツへの興味・関心を高める機会を提供し、底辺の拡大を図る。										
	事業内容	市は、(財)滝川市体育協会と連携し、北海道室内棒高跳大会および日本ハム野球教室など毎年継続開催することで、市民(特に子どもたち等若い世代)に一流選手のプレーを観戦してもらい関心を高めてもらったほか、直接実技指導を受けてもらい、技術の向上を図った。また、地域の自然環境を生かしたスポーツ・レクリエーションの場として、夏は海洋性スポーツが体験できる施設・海洋センターで子どもたちにカヌーやヨットを通して感動体験を提供したほか、冬は北電スロープやスケートリンクで冬期間の体力づくりを図る機会を提供し										

事業コスト	区 分	17 年度	18 年度	19 年度	20 年度	21 年度	特 記 事 項	
	事業費(A)							
	うち一般財源							
	人件費(B)							
	総コスト(A)+(B)	0	0	0	0	0	※単位:千円	

実績と成果	区 分		単位	H17	H18	H19	H20	H21	左記以外の20年度の実績・成果	
	事業の実績(アウトプット)	1	北海道日本ハム野球教室	人	102	79	88	50		プロ野球イースタンリーグ 3,160人
		2	北海道中学校軟式野球大会	人	600	850	800	450		全道高校総体サッカー選手権大会 1,400人
		3	北海道室内棒高跳大会	人	120	120	120	120		全道自治労職員サッカー選手権大会 1,100人
	事業の成果(アウトカム)	1	海洋センター利用者数	人	12,696	15,420	18,160	15,677		全道一生涯野球大会 775人
		2	北電スロープ利用者数	人	6,457	7,426	6,986	6,390		高野連空知支部軟式野球大会 1,137人
		3	スケートリンク利用者数	人	2,904	3,335	2,499	1,858		北海道高等学校剣道選手権大会 450人

評価項目		点数	判 定 及 び 説 明 ・ 考 察									
1	適応性 有効性	10	①市民ニーズや社会経済情勢の現状に適しているか。 ☒ 5 ☐ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1									
			②事業の目的に照らして効果的な手法か。 ☒ 5 ☐ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1									
		(財)滝川市体育協会および加盟団体等と連携し、プロ野球イースタンリーグの開催のほか、全国・全道大会を12大会開催した。(平成19年度は14大会開催)また、海洋センター利用者数は、全国2位で特A評価を受賞し、平成15年度からの6年連続受賞となった。さらに、冬期間スポーツとしては北電スロープとスケートリンクを開設し、市内の子どもたちの冬の健康・体力づくりの場として提供した。										
2	目 標 達成度	10	③目標の水準は適切か。 ☒ 5 ☐ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1									
			④計画通りに目標を達成できたか。 ☒ 5 ☐ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1									
		日本ハムのプロ選手による野球教室での実技指導や第5回北海道室内棒高跳大会により、小学生から一般の市民に実技指導を受ける機会やトップアスリートの観戦する機会を提供した。 また、軟式野球、陸上競技、水泳競技、バドミントン競技、カヌー競技で10名・1団体が全道優勝し、全国大会に出場した。										
3	経済性	4	⑤コストは縮減しているか。 ☐ 5 ☒ 4 ☐ 3 ☐ 2 ☐ 1									
		プロ野球イースタンリーグの開催については興行用料金を徴収した。また、コスト縮減や事務の効率化に努めたほか、体育協会ホームページで情報発信し、合宿誘致を図った。合わせてサイクリングターミナルの斡旋をするなど効果的な利用促進を行った。										

総合評価	合計	24	ランク(A~E)	上記評価を踏まえた事業の課題	①老朽化するスポーツ施設の年次的計画整備が必要。 ②各競技団体と連携した全道・全国大会に出場できる選手の指導・養成が必要。 ③(財)滝川市体育協会加盟団体の育成支援・強化が必要。 ☒ 拡充 ☐ 縮小・統廃合 ☒ 質的向上 ☐ スピードアップ ☐ 検証 ☐ 現状維持
	100点換算	96			

【評価点数】

5 : 十分できている 4 : できている 3 : ほぼできている 2 : あまりできていない 1 : できていない

【総合評価ランク】

A : 86点以上 優れた取組が多く、十分に成果が上がっている
 B : 71~85点 優れた取組がいくつかあり、成果が上がっている
 C : 56~70点 一定の成果は上がっているが課題もあり、更なる取組によって上位を目指すことが必要である
 D : 41~55点 成果が十分に上がっておらず、改善の余地が多く、更なる改善が必要である
 E : 40点以下 成果がほとんど上がっておらず、抜本的な見直しが必要である

◎外部評価委員の評価・意見等

◎外部評価委員の評価・意見等														
評価項目		点数	判 定					点検・評価に関するコメント						
1	適応性 有効性	10	①	☒	5	☐	4	☐	3	☐	2	☐	1	・現在の設備では、全道大会を開催できない種目もあります。 (例としてバスケットボール大会等)
			②	☒	5	☐	4	☐	3	☐	2	☐	1	
2	目 標 達成度	10	③	☒	5	☐	4	☐	3	☐	2	☐	1	・施設の修繕については、市の予算の関係で難しい面もありますが、できるだけ年次計画的に整備してほしい。
			④	☒	5	☐	4	☐	3	☐	2	☐	1	
3	経済性	4	⑤	☐	5	☒	4	☐	3	☐	2	☐	1	
		合計	24 /25	100点 換算		96 /100		ランク	A					・たくさん施設があり大変だと思いますが、できるだけ整備を進めてほしい。いつまでもそのままでは利用者が困ります。